

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

6月号(N09)通巻 159号

2019年6月10日(月)発行(毎月10日)

【農暦】“農”が大事を感じた一日！

○雨が殆ど降らない。だが草だけは元気である。定期的には出来ていないが草払い機で除草をしている。先日(6日)には草払い機の先端からの土煙で草が見えなくなるほどで早々に作業を中止した。その翌日には雨で、乾燥しきった畑は生きかえった。この日に梅雨入り宣言も出された。また、農作業がままならない私の菜園を心配して？援農に来てくれる日でもあった。恵みの雨であるが、チットだけ残念でもあった。

○雨でも懇親の機会にすることにしていたので来てくれた。雨降りの中、除草など少し頑張った畑を見てもらった。調理用トマト、みどり茄子などの苗を持って来て頂いたので植込みをした。その後の懇親会の話題は、高齢者の車事故ニュースが続いており、その話になった。車ドアを損傷した私のこともあり、車にいつまで乗るか、菜園はどうするなど、これから先の事が話の中心になっていた。少し前までは、栽培方法、新種の話で盛り上がったが、話題は大きく変わった。少し寂しいが、菜園のある生活を楽しまれている仲間の元気だけが何よりである。



＜八重?のドクダミ＞純白で可憐
名前は悪いが。7日撮影

○昼食の後、周辺を散策したが、ここ数年での畑の変化を感じた。新規に頑張っている。半分くらいしか出来ていない。草が繁茂した栽培放棄?の畑。3つの模様が見取れた。遠望された水田の景色には救われる思いがした。

“農”が大事を感じた一日でもあった。農作業ではない援農を頂けたような気がした。

○先月号でも述べたが、少しだけ頑張っって楽しい菜園にしたいと思う。恵の雨で畑は生き返っている。遅れてしまったが薩摩芋の苗が手に入ったら植えたいと思っている。草の繁茂の時、エリアを縮めても頑張りたい。(了)

【楽農】＜畑＞ネギ定植(29日)調理用トマト、みどり茄子など定植(7日)絹さやの収穫など。隠元など
*雨降らず発育不か?*草刈り&耕起。

【楽市】イベント交流・直売など。

○イベントなど;市民憲章委員会(15日)、詩吟例会(16、30日)、男女共同参画協議会総会(29日)、笠吟連運営委員会(31日)共生の会(6日)、川柳の会(6日)菜園仲間の援農懇親会(7日)に参加など。



＜トマト、茄子、ピーマンなど＞
7日撮影

【つぶやき = Tweet】 環境危機や富の偏在という喫緊の課題に取り組む米国企業！

○最近心配事ばかりで、いろいろ考えてしまう。7040問題、8050問題があるという。何のことも判らなかつた。40代、50代の子供(*)?を70代、80代の高齢者が支えなくてはならない家庭問題だという。周りを見るとそのような家庭が目につく。親の少ない年金に頼らなくてはならない。親も子も不幸である。樹木希林が出演しグランプリ受賞した「万引き家族」を思い出すが、貧しさを巧みに生き抜いている。まだ救い?があった。7040問題には救いがない。重い鬱々したものを感ずる。*引きこもりや支援が必要な子

○物質的に貧しかった時代の方が幸福だったように思えてならない。ほとんどの人が貧しかったので貧しさを助けあえた。羽生結弦選手が殿様役で出た「殿利息でござる」ではないが助け合うしかなかつたかも知れない。所得倍増と言われた後の一億総中流と言われたが時代があった。不平不満はあつても今の鬱々とした不安に悩む社会状況とは別物であつたと思う。希望や救いがあった様に思う。



< 5本木公園 > 木漏れ日が素敵。時々散歩。11日撮影

○高齢化、少子化だから、だけではない問題があるように思う。物質的豊かさの中で格差が拡大し進展している。社会の大きな底流になっている。正規と非正規、大企業と零細、官庁と民間の中で、膨大な低所得層を生み出し拡大している。政府の政策から生み出されたものである。格差による歪みは想像以上に社会を蝕んでいるように見える。この歪みが、いろいろな社会現象(事件)として顕在化して来ているように思えてならない。働き詰めで高度経済成長を下支えし定年退職、約束された筈の豊かで幸福な老後を重い不安なものにしている。悲惨な事件のニュースを観るたびに心が重くなる。

○一昔前は、初月給貰つたから、ボーナス貰つたからと親にプレゼンするのが美德の時代があつた。その逆は寂しい。JRの豪華な列車旅に象徴される高価な商品が目立つ。薄利多売でなく利幅の多い高価格化ばかりが目立つ。安価な商品は少ない。低所得者の生活は厳しくなる一方である。新橋駅前の取材のTVで40代50代のラリーマンが平均ランチ代は570円(昨年590円)で、安売りのカップ面で切り詰めているという。こ落差に驚いた。

○企業の在り方??していたら「折々のことば」(朝日8日)に“環境危機や富の偏在という喫緊の課題の解決にビジネスとして取り組む米国企業・パタゴニアは<略・略>収益は地域社会と環境活動にも還元する。”という。トランプ大統領とは真逆である。この記事を読んで、またも重い話にしてしまった。(了)

○断捨離考：今月は少し停滞、一休み、次に繋げる準備期間としたい。

【後記】新緑は深緑に、緑に絨毯の水田、自然が一杯の笠間へ、Kogure農場に。

【特に編集せずランダム構成にする】。

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifitv.com